

早期介入・支援事業チーム 「かけはし」について



保健予防課 大下彩子

1) チーム「かけはし」を設置

令和4年度から大津市保健所保健予防課内に
精神保健福祉士・看護師・作業療法士を配置

早期介入支援チーム
「かけはし」



みんなをつなぐ
かけはしに

対象者にお渡しするリーフレット



相談員のご紹介

ご本人やご家族のご希望、困りごと、
なりたい自分…
ああしたい…
こうしたい…
など



健康に
向かって
いっしょに
歩きましょう

(看護師)
E-mail:@city.otsu.lg.jp



はじめの1歩を
いっしょに
探しませんか

(精神保健福祉士)
E-mail:@city.otsu.jp

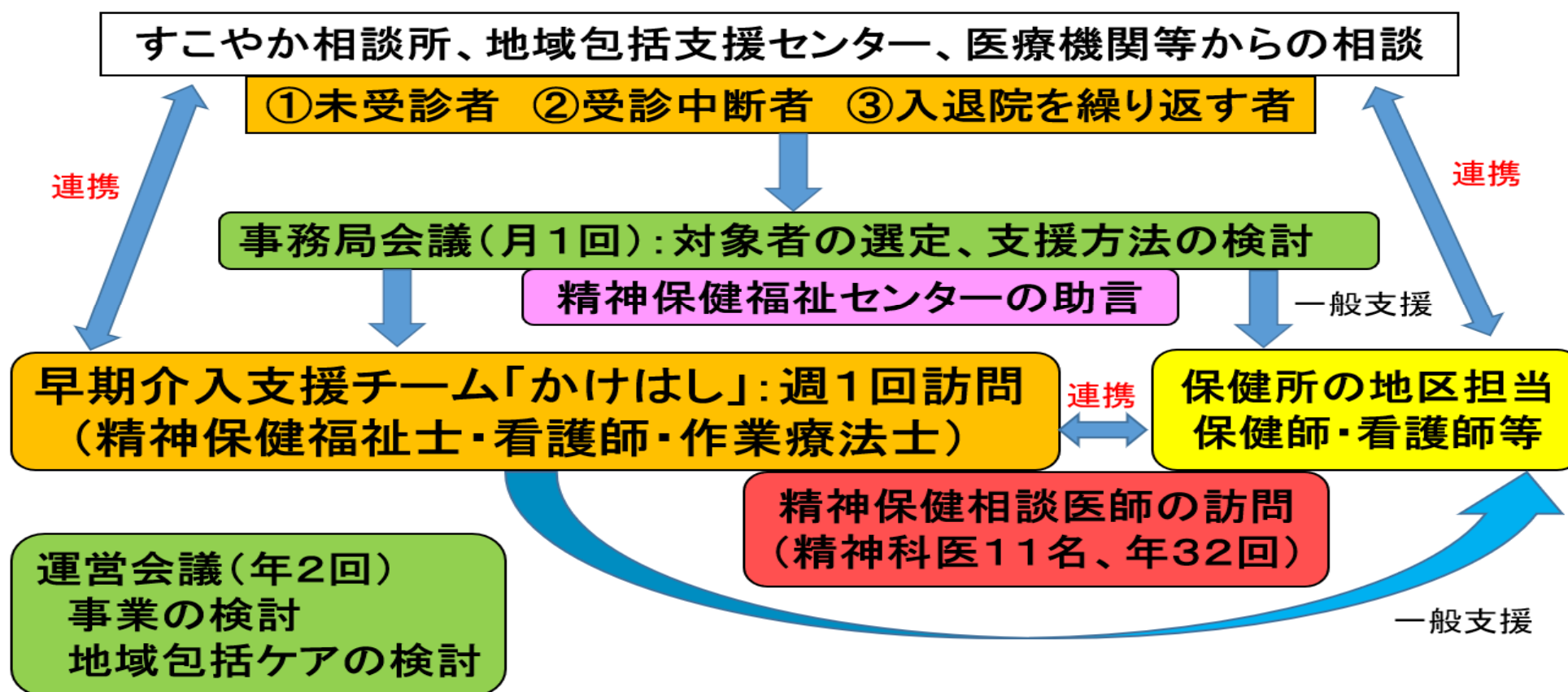


第1歩を
いっしょに
ふみ出し
ませんか

(作業療法士)
E-mail:@city.otsu.lg.jp

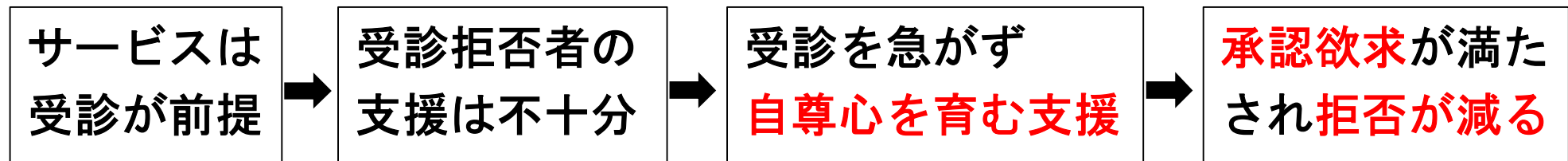
2) 実施体制

大津市精神保健福祉に関する早期介入・支援事業



集中的支援により課題を整理し、一般支援でフォローできる状態を目指す。

4) 自尊心を育む

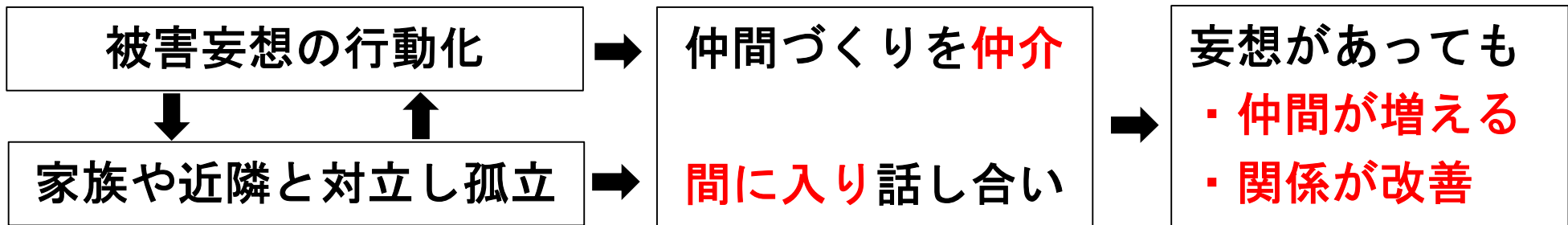


支援員3名で手厚く訪問し気持ちに共感

- ・ 症状があってもできることを確認
(例) できたことを毎日チェックする表 →
- ・ 問題行動を否定せず、失敗に向き合う
- ・ やりたいことをする機会を増やす
(例) 長時間かけてでも外出同行
- ・ 本人が嫌だと拒否できることを保証
(例) 複数の選択肢を示す

		月	火	水	木	金	土	日
服薬	○ □ × □=頓服利用							
睡眠	○ △ ×							
食事	◎ ○ × ◎=自炊							
風呂	○ ×							
歯みがき	○ ×							
排便	○ ×							
洗濯	○ ×							
掃除	○ ×							
外出	買物							
○ ×	通所							
運動	○ ×							
趣味	○ ×							
スマホ	おおよその 利用時間							
気分	5 ~ 1 良好 不調							

5) 仲間を増やす

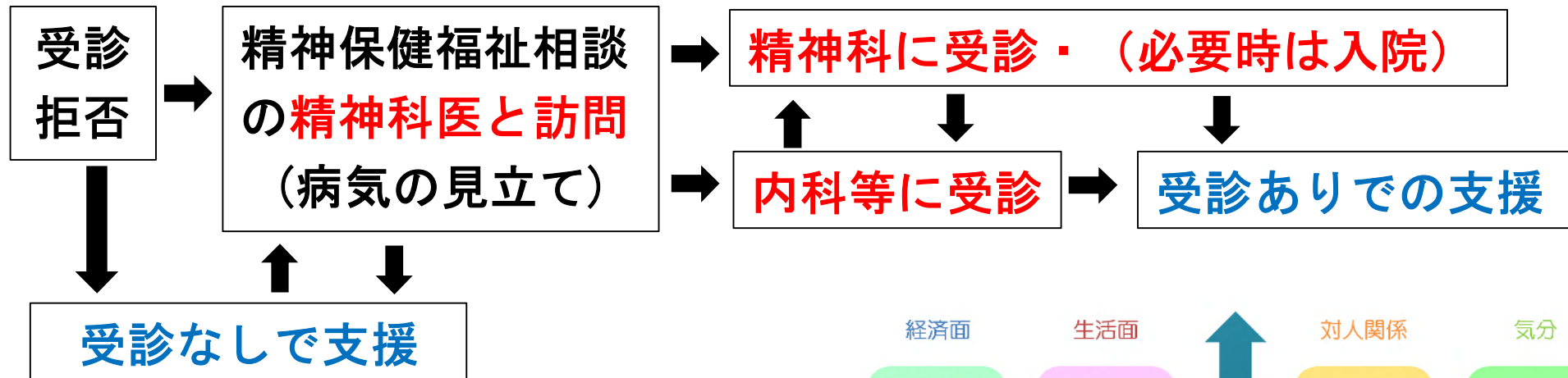


- ・ 被害妄想を否定しない
- ・ 話を聴き、困り事について一緒に考える
- ・ サロンや学習会に参加して当事者交流
(例) マンダラチャートで目標設定 →
- ・ 支援員の仲介で仲間づくり
(例) 一緒に活動 → 活動中は妄想は出ず

⇒ 未受診のままで、妄想もあるのに、
問題行動がなくなる方が複数出た

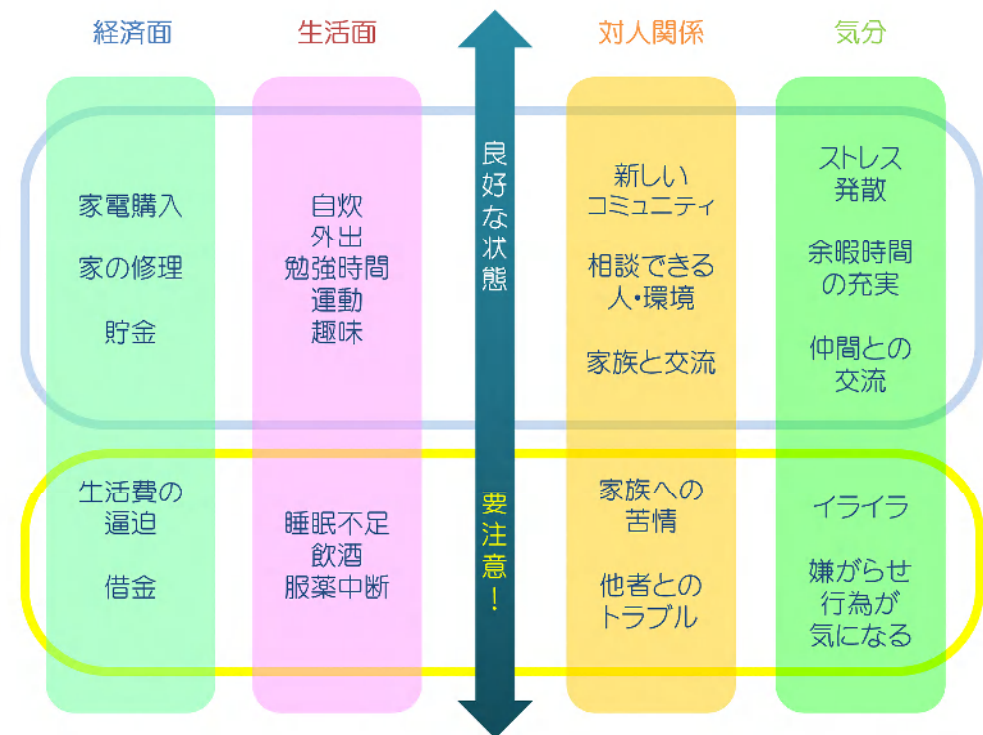
	復職準備	余暇時間の充実	金銭管理
	対人関係	生活の安定	生活リズム
	家庭	資格勉強	健康管理

6) 医療・サービスを受ける



- ・ 精神保健福祉相談医師と訪問
- ・ 内科受診
 - 後で精神科へという例も
- ・ 入院中から病院を訪問し、本人や病院職員と話し合い
 - (例) リスクアセスメント表
 - 退院後の継続受診

→



7) おわりに

- ・ アウトリーチチームによる支援に**一定の効果**
- ・ 蓄積された**ノウハウを一般支援にも活かす**
- ・ 様々な背景の対象者に支援を継続していく

みんなを
つなぐ
かけはしに

